

今夜
ねとられちゃいます！



by 伊藤屋



ねえ……
ユウジくんが……
最近ちよつと……

私のこと
見る目がね……
なんかちよつと
怖いつていうか……

えっ……ユウジが
なんかあったのか？

なんだそれ……
考えすぎだよ……



とにかく今
忙しいから……
もう切るよつ！



おはよつ！
真里奈さん
どうかしたのお？

あつ……おつ
おはよう……
別になんでも
ないのよ



あああつ
ちよつと
なによつ！

っもう！
忙しい忙しいって

下宿人のユウジくん…
単身赴任の間
無用心だからって…
主人の田舎から
連れてきた子なんだけど

ユウジくん
下着姿のまま
うろろろ
しないですよ

えっなんで？
もしかして
興奮したりとかあ

そうじゃなくて…
一応ね…ほらっ
他人同士な訳だし…



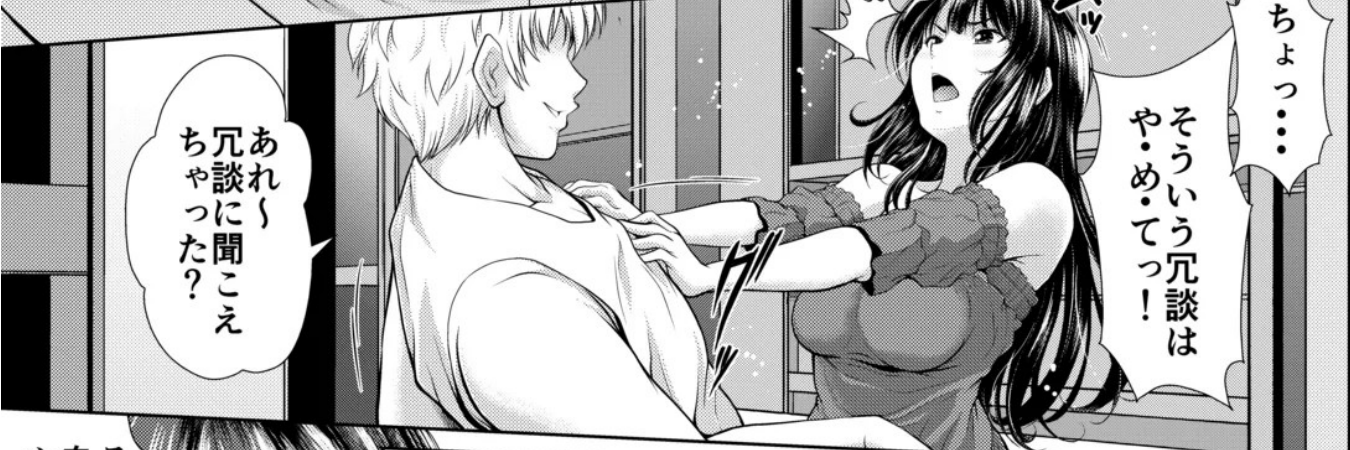


なんなら
ベッドでも
代わりにお相手
しますけどお!



留守中は隆さんの
代わりなんだぜ

そんな寂しい事
言わないでよ



ちよっ...

そういう冗談は
や・め・てっ!

あれ、
冗談に聞こえ
ちゃった?



とっとかくつ
そんな格好で家中
うろつき
廻らないでっ

それと
卑猥な冗談も
やめて...

これよ...この目
...なんなのよ
...気持ち悪くって
怖いんだけど...



失礼しちゃう！
まだ半人前の
くせに……

でも……そんなに
欲求不満に
みえちゃってるの
かしら……私……



んっ？



えっ……！



...

パフッ



んっんっ
ひさびさに
解放されたな

ハア



考えすぎ
なのかな

今日
マリナさん今日は
悪ふけが過ぎました
ごめんなさい
今夜はサークルの
コンパです！
軽薄りになるけど
よろしく！

それにしても
おおきかったな...



ハッ

ぬん

あんなのが
もし...

ハッ



やっぱり...
欲求不満なのかな

ズン



ふう



試しに
ちよつとだけ…



確か…
式の二次会で
友達からもらった…



んっ…

んっん…っ

カチッ

カチッ
カチッ



くはああ…
なにこれっ
すごくいっ!

あ!!



はっあ…
あっ…

ふっんう…
んんっ…



遠慮しないで
言ってくれれば
いいのさあ

はっ
はっ



やっばだ
溜まってたんだ
あねっ
麻里奈さん!

いっ
や

えっ!

おやおやあ
取り込み中
ですかあ?



ちっ違うの...
これは...
試してただけでっ

だから初めて
こんなこと...
ホントよ!



なら...
チェックして
やるぜ!

なっ...
やっやめてよ!

すっ



またまた
しよつちゅう
してんだろ

違うわっ
そんなっ!



すかり出来上がって
めっちゃ濡れてる
じゃないの

やっやめて
何してるのよっ

スルッ
スルッ
スルッ

ぐわっ



ロータなんかじゃ
たかが知れてんだろ

あっ...

そんな
ダメよ
こんなこと!



やあっ!

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ



いいから
任せてよ
溜まってんだろ！

やっあ：
たっ隆さん
言いつけるわよっ！



その隆兄さんの
代わりだと思って
楽しもうぜ！

へへっ
ようやく
ありついたぜ！



あんっ！

ちゅ
ちゅ
ちゅ



いやあだっ…
だめだっばあ！

むにゅ

やあっ

あっ



いいね、その反応……
ますますそそって
きたぜ！

えっ！

はあ

はあ

はあ

……やっ！

はあ

はあ



いやあっーっ！
っだっ……やあっ！

うっ！



しっ

蒸れたマ○コに
陰毛が張り付いちゃって、
食べごろじゃねえの！



やっぱ濃厚だね、
人妻のマ○コってのは
一味違うぜ……

今日は暑かったからね
蒸れ具合も格別だわ!

いやあつ
そんな事お
言わないでえ!

ふう〜ん
ならさあ……

本当にいやめて……
こんなのお隆さんに
知られたらあ……



ふっ

毛



ひあッ

んっ

ぐりゅ

ちぎ

ちぎ

ぐわ

ほあ

おッ

ちぎ

ちぎ

ひっ

ぐわ

ぐわ

ああ



口でしてよっ
それで終わりに
すっからさあ〜

えっ…なんで
そんなことを…

えっ…ここまできて
おさまりつてもんが
就かないじゃんかあ

スルッ

スルッ



じゃあ…本当に
これつきりに
してくれるの？

ああ…全部二人の
秘密だつてことで
いいだろう？

んもおお
本当につ
約束だからねっ！

あ〜ん

ニヤッ



んぷん…
んぷん…

くっうっ…いいねえ
満里奈のフェラ顔
見せてくれよ！

んぷウ…

んぷん

んぷん

んぷん

んぷん

いいねえ〜

なかなか
うまいじゃん

どう？
食べごたえ
あんだろ
このサイズはさあ

ほらもっと！
たっぷり出して
やっからさ〜

んっ！

ふっ
んグウ！





はっあつ
あああつ!

くっ...そらっ
いくぜっ!

ふはっつあ
ほらっつあ
味わえよっ!



うっ...生臭い...
ひさびさに
飲んじやった...

へへっ
たまんないね
興奮したぜ...



でっでもっ
お願い...
これはつけて...

ひっひどい...
これ以上...
されたら...

なに?まさか
本当に終わると
思ってたのお

私だっ
我慢できなく
なっちゃう...



えっ?もう
終わったんじや
ないのお!

なんだ
いやいや
ビチャビチャ
言いな
ながら
じゃん！

ぐにゅ

ああ
あつ
いから
早く
済ませ
てよお

そん
じやあ
いく
ぜつ！

くお
うっ
妻え
締め
まり
じゃん
最高
だぜ
つ

ぐにゅ

…締
まっ
てる
って…
あ
ん
た
の
が
大
き
す
ぎ
て
キ
ツ
イ
だ
け
よ
っ…
な
ん
な
の
こ
の
太
さ…

ずぼん

じゅぽん

ひん

あひん



もうだめっ
この極太チンポで
滅茶苦茶に
おっして
欲しいの
おって！



すっげえ腰づかい
たいんだぜ
たっぷり味わいなっ！



ひい・い
いっ
ちやう
うっ！

あっ……この感じ
来るううっ！

そろそろ
いくぜっ！



じゃあ…これ
記念にやるよっ

…ふふ
まあよかったかな

あつ
やあつ…

どろろ

どうしよう…私…
取り返しのつかない事
しちゃった…





昨日は...
どうかした...
もう...忘れないと

そう...あれは
事故みたいな
ものよ...

おはよう!
麻里奈ちゃん



やっやめて!

あっ...

昨日のせいで
朝からお勃ちちゃって
おさまらないん
だけども



なんだよお
つれないな

がは

スト



えっ…本当にこれっつきりよ

それで全部なかったぜことにしようぜ

だったらもう一回…フェラだけでいいからさ

分かってるって心配すんなよっ



やだ…わたしたったら…興奮しちやってる

なんて大きくていやらしいチンポ…昨日からずっと頭を離れなくて…



ふりたまんねえやつば麻里奈のフェラは最高だぜ!

あの人と
全然違う…
なにこの弾力…

ふん

ぐわん

ふん

ぐわん

ぐわん

おお…
そうだ…
もっと激しくな!

ハム

ぎゅ

ぎゅ

激しくすると
どんどん
硬くなってくる…

くうっ!
すげえぜ!

じゅん

んま

だめだっ
だっ 射精すぜ!

だめっこんなの!
早く終わらせな
きゃじゃないと私…

ぐ

んふん!!

ぷん

ぐ

おらっ!
たっぷり
味わえよ!



んっくっく...



そうそう
こぼさないで
飲むんだぜっ!

こんなに
いっぱい...

それにすごく
濃くて...
いやらしい味...



じゃあ
約束どおり
これっきりで
終わりだ

うっ...



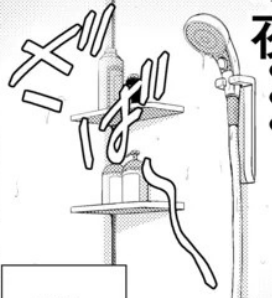
そこそ楽しめたぜ
まあ俺も
飽きっぽいからさ
もういいや!

じゃあなっ!

飽きた...って
なんなのよ...
それ...



その夜…



もう終わった…
でも…

ふう…

ちゅぷっ

ちゅぷっ

何か…ぽっかり
抜け落ちたよう…
なんだろう
この感じ…



本当に…

ちゅぷっちゅぷっ

忘れないと…
あんな奴の
ことなんか…



あんなひどい目に
あつたのに
私…本当は…

だめ…頭から
離れない…



アッ



ん

あ

すごく
興奮してた!



あー

うっ

でもっ…もう…
私には隆さんが…
だからせめて一人で…

ビクッ
ふあっ！

沈めないといっ…
アイツへの
誘惑と衝動を！

ピル
ピル

はあ
はあ

あああっ！

…やっぱり
自分でしても
あの感覚が
忘れられない…



隆さん…早く帰って来てくれないかな…

結局…一人じゃあ絶頂なかった…



だけど隆さんじゃ満足できないかも？私…これからどうすれば…



んっ？

きやつ！



そんな警戒すんなって！襲われるとでも思っちゃたの？

残飯には興味ないんでねじゃあね

ななっ…残飯？…ってこんな侮辱ゆっ許せない！

このままじゃ...
気が済まないっ!

あれ...?
どうしたの
真里奈さん

私だって
貴方に興味ないし...
大嫌いよ!!
言いたいのは
それだけよ!

なんだそんな事
わざわざ言いに
来たんだ...
そんな格好のままあ?

いいじゃない
じゃあ...
行くわ!

期待してたんだけ
こんな事をさあ!

ちよつと
待ちなよ!

つな...
なによっ!

やっ!何よお
私に興味なんて
ないんでしょ!

自分から姦^やられに
来るなんてなあ
とんだ淫乱だな

そっ
そんなんじゃ...

そうよ...
こうなる事を
期待してた...

そんなに
欲しいなら
ご希望どおりに...

はあ...

キキキ

キキキ

ああ

いくとこまで
とことん
昇天かせてやるぜ!

ひび

これっ...これなのっ
この大きい
おちんちんの感触...
これが欲しかったのお!

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ほらっ
こんな風にして
欲しかったんだろ！

カ
カ
カ
カ
カ

いっやあああ
違うのお
こんなのためえっ！

これっ！
これなの！
お
こんな快感
忘れられないっ！

カ
カ

カ
カ

はあっ…
すごお

あひゅ

あひゅ

すげえよがっつてん
じゃんかよ！

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

生ちんぼ
ぶち込まれて
感じまくりやがって

そうなのお
おかしくなりそうな
くらい気持ちいいっ！

あひゅ

チンポ大きすぎてっ
もうわたし…
おかしくなるう！

いいんだぜ
おかしく
なっちゃえよ！

ひびく



おれもチンポが
やつてやつからさっ

ほお

ほお

ピク

グググ

グググ

気持ちよすぎて
なにかが
壊れていきそう…
…違う…
もう壊れてるみたい…

グググ





今日…危険日？
でも…もう…
どうでもいいの！

もっととしてえ！

もっと…



さて…次は
どうしてほしい
真里奈さんよお

はあ

はあ



ぬふん

ふっ…



びび

あひ

びび



へへっ
そんなら…

好きナだけ
ぶっ飛んじまいな！

はあつ
あああ！





ははっまるで
雌豚だな
真里奈さんよお!

ひいひい

雌豚でいいからあ
もつとお
激しくしてえ!



はい...
妊娠させて
くださいっ!

よし確実に妊娠
するくらい
射精してやるぜ
いいよな?

あなたみたいな
ちんぽの大きい
男の子がほしいのっ

くわっ

ひん

心あ

ひん

ひん

だめだなっ!
女じゃなきや
親子丼できねえし

あぁっ
はっばい

おらあっ!
しっかり孕めよっ
いくぜえっ!

はああっっ
子宮にいつぱい
きてるうっっばい

ホッ
ホッ

おちんちん...
もっと...

ザーメン...
いっぱい欲しいのお

へっ...
こりや完全に
できあがてんな...

もう...何もかも
色んなものが
ふっとんじやたあ...

...変われば
変わるもんだな...

ちゅっ
ちゅっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ



どうよっ
これなら奥まで
ぶっ刺さるだろっ！

はぐ!!

はひいっ！
おかしく
なっちゃうよおー

もうだめっ！
わたし…多分
完全に壊れてるう

アッ
アッ



おらっ！
徹底的に
壊れちまえよっ

身体も心も
快樂に
支配されて…

アッ
アッ

まだまだだっ
終わらねえぜっ！

はああっ！



子宮を満たす
ザーメンの感触：
その衝撃と快感に
最高の幸せを
感じたの……

俺だけの
性処理女に
成るんだぜ！

ああうれしい
性処理肉便器に
成らせて……

その日朝まで
何十回したか
覚えてないのか……

ああ♡

もっと……
いっぱい……
頂戴……♡

ふう……
今日はさすがに
もう終わりだな……

だめえ……
もっとお……

は……

は……

ひと月後…

ただいまあ

おかえりなさい
予定より
早かったのね!

んっ? どうした
ずいぶん顔が
真っ赤だけど…

えっ…そう?
久々に貴方に
会えたからなあ…
なんてねっ!

ん?
おやっ…
なんだこれ?

なんか床が
濡れてるけど
なに……？

あっ！これ……
あのお……

おっ……お風呂を
掃除しててえ……
すぐに入るでしょ
だからあー

やだあ……さつき
射精されたのが……
溢れ出てるよお

どろお♡

